

コース名		科目名			対象学年			
医科学の基礎		基礎科学実験（生物）			1			
開講学期		科目責任者		副責任者		全体資料		
1 学期		泰山 浩司				無		
授業到達目標								
1. 光学顕微鏡の各部の役割を理解し正しく取り扱える。 2. 顕微鏡を通して観察した細胞の特徴を理解しスケッチに表すことができる。 3. 内臓諸器官の配置とはたらきを説明できる。 4. 細胞の基本構造について説明できる。 5. 各種組織とそれらを構成する細胞の共通点と相違点、および特徴を説明できる。 6. 脊椎動物の初期発生を説明できる。								
授業計画								
回数	月日	曜日	時限	区分	担当者	所属	授業内容	コアカリ項目
1~4	4/17	水	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	光学顕微鏡の取り扱い・両生類の表皮細胞の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1
5~8	4/18	木	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	光学顕微鏡の取り扱い・両生類の表皮細胞の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1
9~12	4/19	金	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	光学顕微鏡の取り扱い・両生類の表皮細胞の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1
13~16	4/22	月	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの肉眼解剖・カエルの胃と小腸の上皮細胞の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1, C-2-2)-(2)
17~20	4/23	火	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの肉眼解剖・カエルの胃と小腸の上皮細胞の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1, C-2-2)-(2)
21~24	4/24	水	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの肉眼解剖・カエルの胃と小腸の上皮細胞の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1, C-2-2)-(2)
25~28	5/ 8	水	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの平滑筋と骨格筋線維の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-5
29~32	5/ 9	木	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの平滑筋と骨格筋線維の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-5
33~36	5/10	金	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの平滑筋と骨格筋線維の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-5
37~40	5/14	火	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの神経細胞の細胞体と神経線維の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-4
41~44	5/15	水	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの神経細胞の細胞体と神経線維の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-4
45~48	5/16	木	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島	自然	カエルの神経細胞の細胞体と神経線維の観察	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-4
49~52	6/ 7	金	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島 益田	自然 非常勤/ 医福大	ドジョウの発生観察	C-2-4), C-2-4)-1 C-2-4)-2, C-2-4)-9
53~55	6/ 8	土	1~3	実習	泰山・西松 守山・小島 益田	自然 非常勤/ 医福大	ドジョウの発生観察	C-2-4), C-2-4)-1 C-2-4)-2, C-2-4)-9
49~52	6/14	金	4~7	実習	泰山・西松 守山・小島 益田	自然 非常勤/ 医福大	ドジョウの発生観察	C-2-4), C-2-4)-1 C-2-4)-2, C-2-4)-9
53~55	6/15	土	1~3	実習	泰山・西松 守山・小島 益田	自然 非常勤/ 医福大	ドジョウの発生観察	C-2-4), C-2-4)-1 C-2-4)-2, C-2-4)-9
	6/29	土	1・2	講義末試験			講義末試験	C-1-1)-(1)-1, C-1-1)-(1)-2 C-2-2)-(1)-1, C-2-2)-(1)-4 C-2-2)-(1)-5, C-2-2)-(2) C-2-4), C-2-4)-1 C-2-4)-2, C-2-4)-9
評価方法								
[講義末試験]40%（記述式の講義末試験を行う。実習で観察した細胞の特徴や、標本作製の手順等を理解しているか、各発生段階の胚の特徴を理解しているか等を判定する。） [レポート]60%（毎回の実習スケッチの評点、ドジョウの発生実習のレポート評価点を総合して評価する） [評価方法]論述・記述試験、論文・レポート、その他								

課題（試験やレポート等）に対するフィードバックについて
実習では毎回提出したスケッチに、コメント（観察力を高めスケッチを改善するためのポイントや注意点）を記入し返却する。
教科書
川崎医科大学自然科学教室 編 「基礎科学実験（生物学）」
参考書
実習時、実習室に準備してあるものを利用する。
準備学習（予習・復習等）
予習：実習書を読み、実習の目的、使用する薬品、プレパラート作製手順などを確認しておく（30分程度）。 復習：1時間程度、実習で観察した細胞の特徴を実習書に書き込み、構造と働きを理解する。 コメントを記入して返却されたスケッチを見直し、観察すべきポイントを再確認する。
講義についての注意事項
実習の開始時刻までに、各自が使用する顕微鏡や試薬等を指示に従って準備しておくこと。名札、白衣は必ず着用すること。
昨年度からの変更点・改善項目
（特になし）
学生の受け入れ方針や卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連について
本科目履修には入学までに問題解決能力の他、柔軟な思考力やコミュニケーション能力等が備わっていることが望ましい。新しい医学研究探索や研究マインド育成のための基本的科目であり、2年次に学ぶ医学研究への扉へと続く学問である。
ナンバリング
GTBS107